

## 開催趣旨

昨今の社会情勢は、少子高齢化、国際化、高度情報化などが急激に進展し、その時代の変化に応じた生活・社会基盤の構築が必要となっています。生活・社会基盤を形成する公共施設については、国民ニーズに基づく質・機能の向上が重要です。そのためには、工事コストの低減や事業の効率性の向上のみならず、ライフサイクルコストの低減、リサイクルや環境対策、IT技術による情報共有化、防災などの新技術・新工法の開発を積極的に推進していく必要があります。

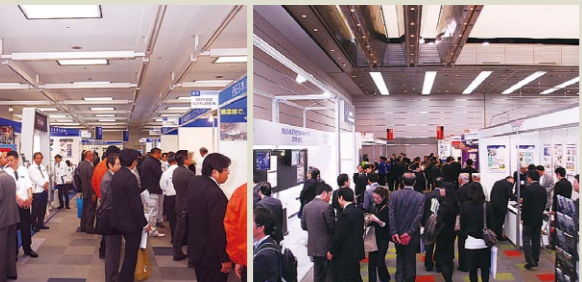
民間企業が開発した新しい技術を積極的に活用し、評価することによって、技術開発がさらに促進されなくてはなりません。そのことは、技術力に優れた企業が伸びる環境づくりにも貢献します。民間が持っている技術を社会・公共事業に生かすことが、民間の活力の向上、さらには、直接的・間接的な事業効果の向上を図る上で重要なのではないのでしょうか。

「建設技術展2010近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

1. 民間分野において、建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介する
2. 新しく開発された技術の育成と普及
3. 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
4. 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

こうした技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびにコンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に貢献していきたいと考えています。



# 開催イベント

## 特別講演会

### 「危機管理・環境保全」産業としての建設産業の復興が日本を救う

12/2 [木] 13:30-14:30

政治評論家の森田美氏に講演していただきました。「不況で社会の劣化が進んでいる、国を豊かにする政策が必要だ」「健全で、若い人に大きな希望を与える社会をつくる曲がり角にある」と訴えられ、早急な雇用対策と公共事業の必要性を強調されました。



森田 美氏



## 関西ライフライン研究会地震防災フォーラム

### 「南海トラフ巨大地震に備えて—我々はそれまでに何をすべきか—」

12/1 [水] 10:40-12:30

上総周平氏 (近畿地方整備局長) が基調講演を行った後、欽田泰子氏 (神戸大学大学院准教授) をコーディネーターに上総周平氏、澤田純男氏 (京都大学防災研究所教授)、熊木芳宏氏 (神戸市水道局技術部計画課主幹)、小川安雄氏 (大阪ガス導管事業部導管部導管技術チームシニアエンジニア部長)、垣尾徹氏 (JR西日本施設部土木課長) が、平成7年の阪神・淡路大震災でのライフラインの復旧状況や現状を踏まえ、近い将来発生が予測される南海トラフ巨大地震に備えて我々は何をするべきかを検証しました。



上総周平氏 欽田泰子氏 澤田純男氏 熊木芳宏氏 小川安雄氏 垣尾 徹氏



## 橋梁模型製作コンテスト

12/1 [水] 10:30-12:30 会場製作部門

12/2 [木] 10:00-12:00 会場製作・学生部門載荷試験



## 新都市社会技術融合創造研究会

委員長 京都大学理事・副学長 大西有三氏

12/1 [水] 16:00-17:15

「舗装技術の変革を近畿から」を総合テーマとする研究報告会を開催し、山田優氏 (大阪市立大学名誉教授) が「舗装技術の課題と今後」と題して講演されたほか、「CO<sub>2</sub>大幅削減のためのアスファルト舗装技術」、「耐久性向上のためのコンクリート舗装技術」について研究報告が行われました。



山田 優氏

大西有三氏

## 土木実験・プレゼン大会

～どうして?なぜ?が一目でわかる～ (土木学会関西支部)

12/1 [水] 14:30-16:30

土木がつくる施設や工事について、一般の方々に、わかりやすく、親しんで興味を高めてもらえるように、平易な実験 (ナトムトンネル、地すべり、補強土、土の不思議、橋脚の揺れ、鉄筋強度) を取り揃えプレゼン大会を行いました。



## パネルディスカッション

### 「京阪中之島線建設の軌跡」

12/1 [水] 13:30-15:30

小山幸則氏 (京都大学大学院教授)、中野道夫氏 (中之島高速鉄道常務取締役)、向井寛行氏 (京阪電気鉄道執行役員)、北田奈緒子氏 (地域地盤環境研究所地域科学研究部門統括グループ長)、武田信一氏 (大成建設四国支店土木部長兼統括営業部長)、池田恭二氏 (大林組九州支店土木工務部長) が2003年から6年弱に及ぶ工事を振り返り、水対策など「高度な技術」と、環境保全をキーワードとしたイメージアップ戦略のもと「都市土木における新しいスタイル」に挑戦した建設の足跡を紹介しました。



小山幸則氏 中野道夫氏 向井寛行氏 北田奈緒子氏 武田信一氏 池田恭二氏



## 学生のためのキャリア支援

～相談にのります、将来への道づくり～ (土木学会関西支部)

12/2 [木] 13:00-15:00

土木業界を代表する産・官の業種 (官公庁、高速道路、鉄道、総合建設業、建設コンサルタント、橋梁メーカー) から、実際に働いている方々に学生の皆さんの知りたい・聞きたいことに答えていただき、学生の皆さんに今後のキャリアパスを考えるための参考にしてもらいました。

